

病

気のことを

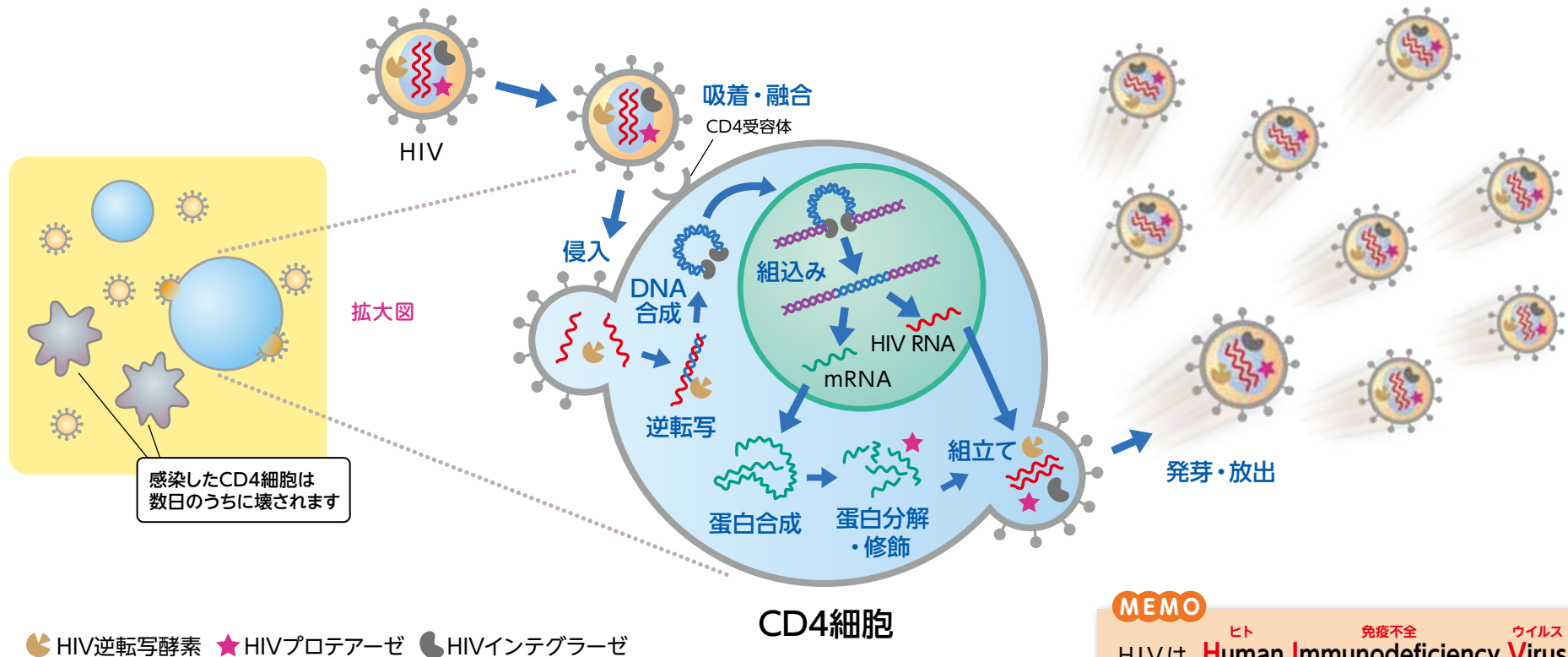
知りましょう

# HIVとは何ですか？

HIVは「**ヒト免疫不全ウイルス**」のことです。  
HIV感染症はHIVに感染したことをいいます。

## HIV増殖の様子

HIVは、ヒトの免疫の司令官であるCD4陽性Tリンパ球（**CD4細胞**）を使って増殖します。  
その結果、CD4細胞は破壊されてしまいます。



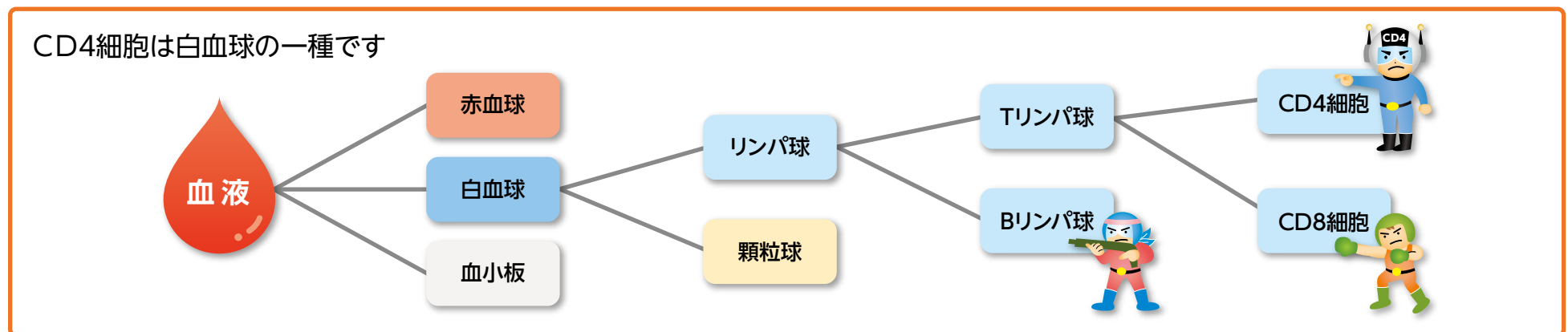
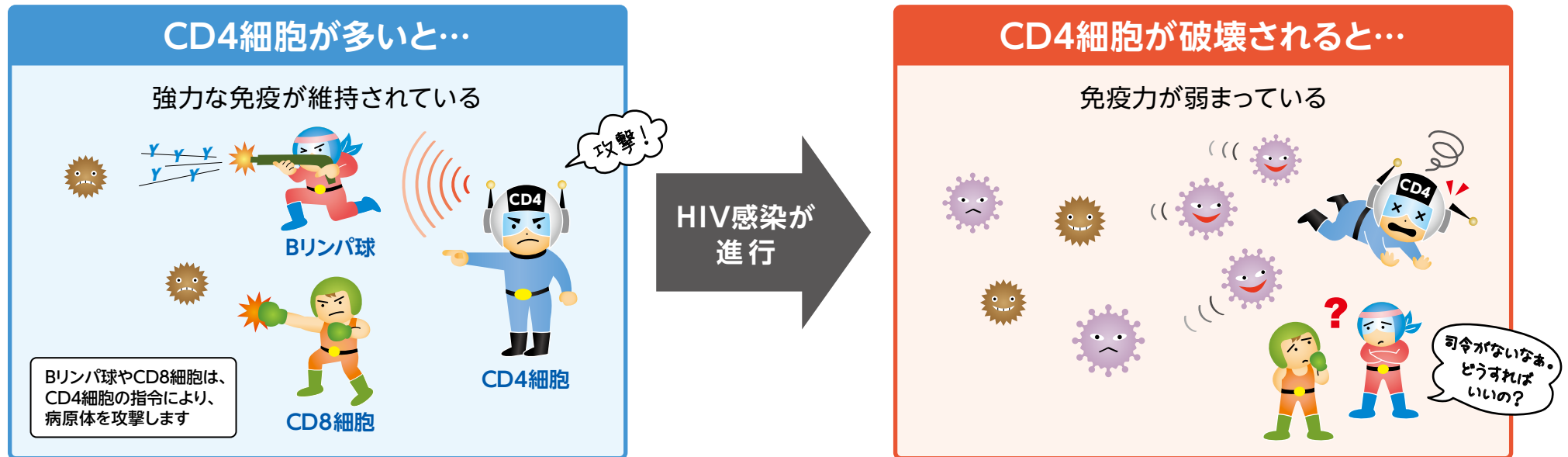
感染したCD4細胞は数日のうちに壊されます

### MEMO

ヒト 免疫不全 ウイルス  
HIVは、**Human Immunodeficiency Virus** の略です。  
HIVは、1日に数億～数十億個以上増殖をくり返します。

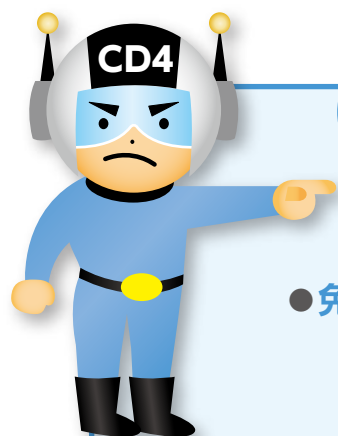
# CD4細胞とは何ですか？

CD4細胞は、病原体からからだを守る「免疫システムの司令塔」です。



# HIV感染症の指標は何ですか？

定期的に**血液検査**を行い、血液中の**CD4細胞数**と**ウイルス量**の検査を行います。



## CD4細胞数

- **免疫状態**を知る指標になります

単位：/μL

CD4細胞数の正常値

500~1,000/μL

CD4細胞数が多いほど  
免疫力は高くなります

## ウイルス量 (HIV RNA量)

- **HIV感染症の進行速度**の指標になります

単位：コピー/mL

測定限界

標準法	: 400コピー/mL
高感度法	: 50コピー/mL
リアルタイムPCR法	: 40コピー/mL <sup>注)</sup>

40コピー/mL未満を目指しましょう

注) 2008年以降、一般的にリアルタイムPCR法(Taq Man PCR法)が用いられている

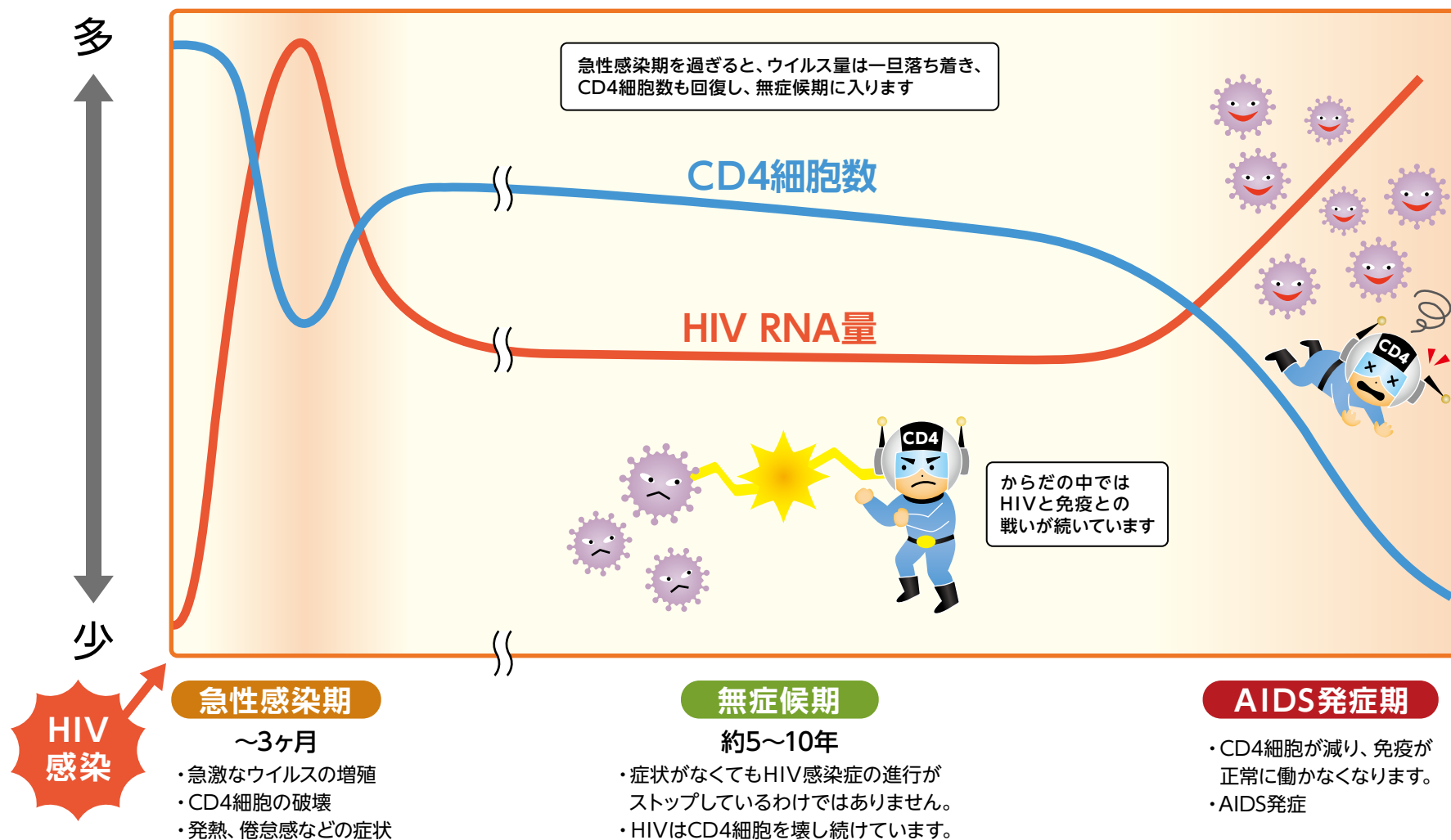
### MEMO

**HIV RNA量**：血液中に存在しているHIVの遺伝子の量のことです。

# HIV感染症はどのように進行するのですか？

HIVに感染すると時間をかけて徐々にCD4細胞が破壊されていきます。

CD4細胞の破壊が進むと免疫が正常に働かず、細菌やウイルスが体内に侵入しやすくなります。



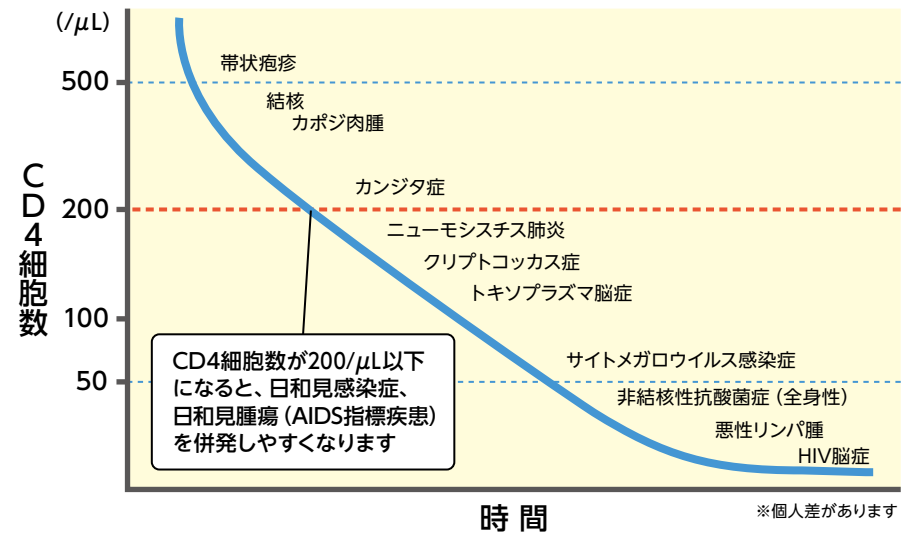
# HIV感染とAIDSは違うのですか？

HIV感染とAIDS (エイズ) は**イコールではありません**。  
HIV感染が進行するとAIDSを発症します。

MEMO

AIDSは、**後天性免疫不全症候群**の略です。  
Acquired Immune Deficiency Syndrome

HIV感染が進行し、下記の23種の**日和見感染症** (感染力の弱い病原体などの感染) のいずれかを発症した状態をAIDSといいます。  
HIV感染が進行しCD4細胞数が減少すると、免疫力が正常な時には感染しない弱い病原体にも感染してしまいます。



## AIDS指標疾患

<b>A. 真菌症</b>	1. カンジタ症 (食道、気管、気管支、肺) 2. クリプトコッカス症 (肺以外) 3. コクシジオイデス症 <sup>1)</sup> 4. ヒストプラズマ症 <sup>1)</sup> 5. ニューモシスチス肺炎	<b>C. 細菌感染症</b>	9. 化膿性細菌感染症 <sup>2)</sup> 10. サルモネラ菌血症 (再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く) 11. 活動性結核 (肺結核又は肺外結核) <sup>1), 3)</sup> 12. 非結核性抗酸菌症 <sup>1)</sup>	<b>E. 腫瘍</b>	16. カポジ肉腫 17. 原発性脳リンパ腫 18. 非ホジキンリンパ腫 (a.大細胞型・免疫芽球型、b.Burkitt型) 19. 浸潤性子宮頸癌 <sup>3)</sup>
<b>B. 原虫感染症</b>	6. トキソプラズマ脳症 (生後1ヶ月以後) 7. クリプトスポリジウム症 (1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの) 8. イソスポラ症 (1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)	<b>D. ウイルス感染症</b>	13. サイトメガロウイルス感染症 (生後1ヶ月以後で、肝、脾、リンパ節以外) 14. 単純ヘルペスウイルス感染症 <sup>4)</sup> 15. 進行性多巣性白質脳症	<b>F. その他</b>	20. 反復性肺炎 21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成: LIP/PLH complex (13歳未満) 22. HIV脳症 (痴呆又は亜急性脳炎) 23. HIV/消耗性症候群 (全身衰弱又はスリム病)

1) a: 全身に播種したもの、b: 肺、頸部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの  
2) 13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により以下のいずれかが2年以内に、2つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの  
a: 敗血症、b: 肺炎、c: 髄膜炎、d: 骨関節炎、e: 中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍  
3) C11活動性結核のうち肺結核、およびE19浸潤性子宮頸癌については、HIVによる免疫不全を示唆する症状又は所見がみられる場合に限る  
4) a: 1ヶ月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの、b: 生後1ヶ月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの